

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第3部門第3区分

【発行日】平成19年10月11日(2007.10.11)

【公表番号】特表2007-508416(P2007-508416A)

【公表日】平成19年4月5日(2007.4.5)

【年通号数】公開・登録公報2007-013

【出願番号】特願2006-533925(P2006-533925)

【国際特許分類】

C 0 8 F 8/26 (2006.01)

B 3 2 B 27/30 (2006.01)

【F I】

C 0 8 F 8/26

B 3 2 B 27/30 D

【手続補正書】

【提出日】平成19年8月22日(2007.8.22)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

フルオロポリマーの改質方法であって、

フルオロポリマーを、相間移動触媒；スルフィドもしくはポリスルフィド塩またはそのアニオン性共役酸のうちの少なくとも1種、および液体ビヒクルを含む成分から調製することができる改質用組成物と接触させるステップと、

前記改質用組成物を前記フルオロポリマーと接触させながら、少なくとも約40℃の温度で加熱するステップとを含み、前記フルオロポリマーが構造-CH₂CFX-（ただし、Xは、H、C1、またはFを表す）を有する副単位を含む主鎖を有する方法。

【請求項2】

複合物品の調製方法であって、

フルオロポリマーを含む表面を有する第1の基材を提供するステップと、

前記第1の基材の表面を、相間移動触媒；スルフィドもしくはポリスルフィド塩またはそのアニオン性共役酸のうちの少なくとも1種、および液体ビヒクルを含む成分から調製することができる改質用組成物と接触させるステップと、

前記第1の基材を第2の基材に結合させて、複合物品を提供するステップと、を含み、前記フルオロポリマーが構造-CH₂CFX-（ただし、Xは、H、C1、またはFを表す）を有する副単位を含む主鎖を有し、方法は実質的に化学線なしで実施する方法。